

## 令和元年度 第4回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和元年9月17日（火）18:30～19:50

【場 所】 浜益支所2階庁議室

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 第7期浜益区地域協議会（H29.10～R1.9）の総括

【出席者】 9名（15名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
会長	宮田 勉	○	委員	三上 正信		委員	渡邊 真奈美	○
副会長	大久保 満彦		委員	辻 カヨ子		委員	大浦 浩	
委員	寺山 広司	○	委員	羽立 裕子	○	委員	徳地 克実	○
委員	門脇 弥	○	委員	岸本 紀子	○	委員	石川 宗	○
委員	小田 則貞		委員	中元 義晴	○	委員	瀧 勝明	

（浜益支所） 松田支所長、成田市民福祉課長（併 浜益生涯学習課長）、  
宇野市民福祉課保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、浜益国保診療所庶務課長）  
柿岡地域おこし協力隊員  
（事務局） 佐々木地域振興課長、藤巻主査  
（企画経済部） 中西次長、三上主任

【傍聴者】 0名

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
  - ① 第7期地域協議会の総括について
- 4 その他
- 5 次回の開催日程について
- 6 閉 会

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

### 【宮田会長】

本日は、時節柄大変お忙しい中、日中お疲れの中、会議にご出席いただき感謝する。9月に入りまして北海道では、これまでにない暑い日が続いている。私道路から田んぼを眺めているが、稲も順調に実り、今年は台風や強風、大雨などに見舞われることもなく、このままでいくと豊作の秋が迎えられと思っていた。しかし、農家の方にお聞きすると気温や雨などの微妙な影響があり、実入りがイマイチで、刈り取り時期が非常に難しく、田んぼも柔らかく例年より作業がしづらいと伺っている。農家の方々の苦労や心配は、刈り入れがすべて終わるまで続くのだと改めて思ったところである。

一方、秋サケ漁だが、残念ながら現在のところ順調な水揚げまでとはいっていないようである。今後、漁業者の皆様の奮起を期待しながら、何とかこの秋には、豊作と豊漁の秋を皆様と一緒に喜び合いたいと願っている。

本日は、前回に引き続き私たちが地域協議会委員として務めた1期2年の反省と次の委員に引き継ぐべき課題等について、第7期地域協議会の総括として、全委員の意見をまとめていきたいと考えている。また、そのほか、皆様の大きな関心がある川下・柏木コミセンの建て替えの件について、本庁企画課から報告がある。

## 3 協議事項

### (1) 第7期地域協議会の総括について

- ・浜益支所地域振興課から、委員に配布した資料に基づき説明した後、協議し了承した。

### 【佐々木課長】

《会議の状況として、任期中の会議の開催状況、議論されてきた主な内容について説明した。》

### 【宮田会長】

- ・ただいま説明があったが、第7期の任期中に計16回の会議を開催した。どのような内容の議論をしてきたのかを要点にまとめている。資料の内容、それから説明の内容について、皆さんの意見や補足する部分があれば、発言をお願いしたい。特になければ次の項目に移る。

### 【佐々木課長】

《第7期による振り返りのポイントとして、地域づくりを進めるために、地域協議会の役割、地域自治区振興事業、これからの地域づくりに必要と思うこと等について説明した。》

### 【宮田会長】

- ・これまでの意見の集約等を土台にしてのまとめである。議論のポイントと協議会としての評価やそれらの方向性を案として書き出している。これに対して皆さん何か疑問な点、付け加えるべき点等があれば、述べていただきたい。
- ・私自身がそうであるが、地域協議会の役割は、どちらかという観光客の受け入れ、観光施設の整備、農林漁業の振興、そのようなことに思いがあるが、子育て、高齢者の福祉、そういうのも我々の議論の話題にしても構わないと思っている。これまでのまちづくりの観点だけではなく、幅広くこれからも地域協議会として議論していければ、また良いものができるのかと思っている。

### 【渡邊委員】

- ・議論をする場は必要だし、したいと思っているが、それがきちんと届いているのかが全然分からない。何かもう少し話し合ったことに対して、手応えがほしい。

### 【宮田会長】

- ・私も同感で、手応えがほしい。

【松田支所長】

- ・その辺が、経緯経過を説明したが、その後どうなったのかの部分、タイミングが合うように報告ができていなかった。特に今言っているような発言につながっているのかと思うし、そういう要素がある。たまたまコミセンの話が話題になっているが、確かに時間が掛かることもあるので、時間が掛かるのなら掛かるなりの途中の状況などを話題にしていなかったことは、反省すべき点だと思う。

【渡邊委員】

- ・区民の意見を聞いた形だけがほしいのかと思ってしまう。ただ言っただけで、結局はどうなったのか。

【松田支所長】

- ・議題が、市役所から伝える中で、ある意味報告で終わってしまうものもあることはある。コミセンの問題は、まさに当地域の大きなポイントなので、その部分は報告で終われる話ではもちろんなく、現実に進めていく。支所も本庁から連絡がないとの感覚で、本庁任せになっていることも、もしかしてあったのかもしれない。連絡が来なければ、支所から声がけするとかは、今回の総括の話で、会長とも話したが、必要だと認識した。そこを意識して書かせていただいた。

【宮田会長】

- ・一般住民の方も地域協議会が何をしているのか、なかなか理解してもらえていないと思う。もう14年も15年も経っているが、いったい何をやっているのか、議会とは違って、地味なことは確か。地域協議会として、そのもののPRもこれからしていかなければならない。

【門脇委員】

- ・協議会委員も頭が固すぎる。だからこのような話になる。今も協議会で話をしているが、敬老会の話一つをとってもできることではないのか。組織を作って協議会に立ち上げたとの報告をして、浜益の一つのイベント、祭りの事業をしてはどうなのか。高齢者あつての浜益なのだから、感動してもらえるものを実施していけたらと思う。それが一番簡単なことだと思う。
- ・いろいろな案件が出てきてもどうのこうのと頭を固くして話をし、それが今まで続いているからダメ。いつまで経ってもこの状態が続いているかと思う。

【宮田会長】

- ・この敬老会の問題、一つ提起された経過がある。それをどうする、少し話し合ってみようと全体会議でなくても支所を含めて何人か、小グループで検討し、自治会の意見を聞きながら、そのような取り組みが、これまで足りなかった。そこが一番抜けていた点だと思う。貴重な色々な意見、色々なアイデアが確かに出ているかと思う。それがいつの間にか萎んで消えてしまうのは、どうなのか。それを2回、3回と話し合い、結論はそのとおりにいかなくても、議論をするところが、欠けていた。その部分をこれから大切にしていきたいと思う。

【門脇委員】

- ・結構、反対する人は逃げ道に回る。それでうまくいかない。今までどおりで良いとなる。

【宮田会長】

- ・色々な課題、壁、解決しなければならない制度上の問題も出てくるのかもしれないが、最初から議論なしに流してしまうことが、一番、当協議会の弱いところだと思っている。次期協議会でもなりたくてなっている委員ばかりではなく、お願いされて受けている委員がほとんどで、なかなか難しい部分もあると思う。責任を押し付けるわけではないが、普段思っていることを自由に話してもらっただけで、良いと思う。それを含め次期委員には、一歩前進、二歩前進できるよう期待する。

【佐々木課長】

- ・その関連だが、今年から地域振興のアイデアの意見交換の時間を作るようにし、継続すると先ほど言ったが、そこを実現するようにどのような道筋をつけるのか、道筋をつけるにしてもこのメン

バーだけでなく、自治会、婦人会、各団体との意見交換を広げ、深めていくことで、アイデアが実現する。そこを地域協議会が中心的に人を繋ぎ、団体の意見を聞き、機能を果たせれば、アイデアも先に前進できる。地域協議会が今後、役割を強化できればと事務局として期待している。

【松田支所長】

- ・手応え、鋭い指摘だと思う。結局、形にしていく、突き詰めて実施するまでに至らなかった。なかなかテーマも幅が広がったので、テーマを絞って、具体的に話すことをする繰り返しが必要だと思う。
- ・実際問題、敬老会の話は、3月に話題になったが、今年の敬老会は昨日で終わったので、来年に向けての話になるので、色々な方と話をしていくのはありだと思う。

【宮田会長】

- ・敬老会の話が話題になり、それに関しての考え方、意見が出ていたが、今後議論の余地は十分にあり、結論はこのままとは限らないし、問題が出てくるのかもしれないし、深く掘り下げた議論こそが必要だと思う。敬老会の問題については今後議論していきたい。
- ・この項目について何か意見ありませんか。まとめとしてはこれで良いのかと思っている。
- ・補足事項等何かありませんか。個々の具体的なことは次期の協議会委員に委ねるとし、今回の総括の観点から、この項目については、これでまとめることとしたい。

【佐々木課長】

《第8期への引継ぎ事項について説明した。》

【宮田会長】

- ・第8期への引継ぎ事項である。第7期を振り返りながら、評価、今後の方向性などを基に6項目に絞った内容となっている。このほかにも第7期でやり残した項目もあるが、これについて、皆さんから、意見、追加すべき事項などがあつたら、発言をお願いしたい。
- ・これから、年末、年度末に各団体の総会等が開催される時期になると思う。その中で地域協議会をそれぞれ委員の皆さんの所属する団体等の会議の中で、地域協議会で手伝えることができる内容があれば、是非、話をしていただき、積極的に地域協議会を活用していただきたいと考えている。

【石川委員】

- ・引継ぎ事項の項目は良いが、要望、陳情の項目、今までは、ないと思う。委員は、報告だけ聞いている会議。第8期がこれから進めていくうえで、年度当初にでも各種団体で話し合ったこと、活動内容の報告を受ければ、それについての疑問が出てくる。今までそのようなことがなかったから、念頭におきながら、会議を進めると良いと思う。

【宮田会長】

- ・橋を直してほしい、道路を直してほしいというのは、別の意味で自治会を通しての要望ができるので、まちづくりにつながるような要望、陳情なら大丈夫だと思う。各団体が協議会を通じて要望したいことがあれば、パイプ役にならなければならないので、その役割を果たしていきたいと思っている。是非、各団体であれば、遠慮しないで地域協議会に意見をもち込んでほしいと思っている。それが本協議会の活性化にもつながっていく。

【石川委員】

- ・今まで地域協議会が話し合ったことの結果が見えてこなかった。私も委員になったが、それ以前は、ただ協議会だよりを見て、そのようなことを話し合っているのか程度の感覚だった。委員になってみると要望は一切受け付けませんと言われたので、何をすれば良いのか分からなかった。以前、災害の説明を受けた時に、ただの報告だけなら説明はいらない。実際、危険箇所を見ているのか疑問に思い質問した。
- ・会議内容が見えるものと見えづらいものがあるが、どこまでなら良いのかももう少し話し合ってみると良いかと思った。

【宮田会長】

- ・今後、残留する方、新たに選任される方、以前に委員でいた方、様々な方がいるが、最初の会議の中でも、そのようなことにポイントをおきながら、活発な議論が交わされるような雰囲気づくりをしていきたいと思っている。
- ・協議会のこれまでの反省と今後に託したいことが記載されているが、全体的に何かないでしょうか。この内容で取りまとめてよろしいでしょうか。
- ・それでは、この内容で、2回の会議にわたって話し合われた総括について、取りまとめたいと思う。
- ・この内容については、取りまとめた最終のものを改めて現委員の方にお知らせする。

#### 4 その他

(1) 川下・柏木コミセンの建て替えの件について

- ・企画経済部企画課から情報提供があった。

【中西次長】

- ・前回の時にこのコミセンの代替案について、コンサルに委託をして検討中であるとお話しているところである。この途中経過、現状について、今日、ここに来る前に川下、柏木のそれぞれの自治会長にお話をさせていただいた。その中身については、現在3つの案で検証を進めている。その一つについては、昨年もお話をしていたかと思うが、現在のはまます保育園の敷地のところに建て替えをする案、もう一つが川下海浜公園の敷地に建てる案、それともう一つが、浜益温泉側、実田側に建設をする案の3つの案を今検討していることを伝えている。それぞれ、100点ということはないので、防災を優先するのか、普段使いを優先するのか、位置的な問題を優先するのか、様々な課題があると思うが、それを改めて地域の中でも考えていただくことも含めて、お伝えをしている。今後については、10月に入るかと思うが、それぞれの自治会に説明会の形でご説明をさせていただくことと、改めてこの地域協議会でもご説明をさせていただく方向で、できるだけ早く建てられるようなことも含め、進めていきたい。できれば年内、10月中、11月の前半には方向性を定めただ中で、次年度、設計の予算まで持っていけるのか、そのことも含めて検討していきたい旨、説明をさせていただいている。

【宮田会長】

- ・ただいま説明がありましたが、コンサルの案を基に3つの案で検討中だとのことである。それぞれの自治会においては、10月に入ってから、説明に入っていくとのことである。防災観点を重要視するのか、利用度を優先するのか、位置を優先するのか、色々と地域の皆さんが考えているとあると思うが、すべてを満足にすることは、なかなか難しいと思うが、それぞれの地域の住民の方々の意見を十分に取り入れて検討していただきたい。皆さん今の時点で何か聞きたいことがありますか。

【石川委員】

- ・川下、柏木両地区で、3か所なのか。

【中西次長】

- ・川下、柏木の2か所が使えない状況、それを取りやめて一つに集約した形で設置をさせていただきたい。

【門脇委員】

- ・川下なら川下、柏木なら柏木として、説明会を開催しても絶対意見が分かれるので、決まらないと思う。

【中西次長】

- ・それは一緒に説明会を開催する予定である。

【門脇委員】

- ・説明会には、浜益住民の問題でもあるので、川下、柏木地区の方々だけの意見ではなく、浜益区の興味のある方にも周知することで、色々と意見が出てくるかもしれない。財政の段階で予算説明の

時に、若い世代のことも考えて、今、市が動いているのだから、そのことも伝えていかなければならない。ただ説明しましたではダメ。浜益のことを考えて建設すること、次の世代に関してのこともあるので、自治会長等に説明しても次の世代の方々にも説明しなければダメ。今後活用する建物で、今の建物の話ではない。自治会長が駄目だとなって、反対意見になった時に若者が自治会長に対して意見を言ったら頓挫する。

【宮田会長】

- ・今回の自治会長に説明したのは、状況を説明したわけで、実際に具体的な案等については、自治会長を含めた地元説明会をこれから開催するとの意味と理解して良いか。

【中西次長】

- ・途中経過を説明したもの。

【門脇委員】

- ・その地域だけで説明するのは意味がない。何回も足を運ばなければならない。

【中西次長】

- ・全地域でとのことであれば、それはそれで当方は構わない。全地区にお声がけすることで良いか。

【門脇委員】

- ・地域協議会に自治会長を集めて、意見を聞く場を設けたほうが良い。地域の皆さんを集めたら複雑になる。ならば、自治会長などを集めて地域協議会の中に部会を設置しても良いのではないか。

【中西次長】

- ・結果的にほかの協議会、会長以外の方のお声を聴く機会を作るとの話をしているので、それはそれで良い。

【門脇委員】

- ・ただ、その案をいまだにまとめられていないのか。

【中西次長】

- ・今日の段階は、途中経過を報告した。

【門脇委員】

- ・事務処理が遅いと思う。

【宮田会長】

- ・先般の段階では、これからコンサルに委託してとの話だったが、それらきめ細かい説明が、必要だったのではないかと企画課に伝え、その結果、今日、現段階での状況を説明された。

【門脇委員】

- ・これがただの報告ではないのか。

【石川委員】

- ・防災の建物なのか。それともその地域コミュニケーションの建物なのか。

【中西次長】

- ・地域の集会、会議、会合、そういったもので使えることを考えた提案である。

【石川委員】

- ・それで、場所が3か所のうちの1か所なのか。もし実田であれば柏木、川下の方は実田で集会することとなるのか。

【中西次長】

- ・そういうことになる。

【門脇委員】

- ・まったく説得力がない。

【中元委員】

- ・各自治会からは、かなり批判があると思う。

【門脇委員】

- ・市としては、これが一番良い案だと思いついて説明しなければ、皆の意見を聞いていたら、それぞれの意見があり、絶対に進まない。今日も報告をしに来ただけではないのか。報告だけなら求めていない。

【佐々木課長】

- ・今日は、自治会長にこのような考えで進んでいること説明したうえで、それぞれの自治会の皆さんにも説明を10月の下旬にしていきたい旨、お願いに企画課が来た。その説明内容は、打ち合わせをしたが、まず地域協議会の場で考え方について順を追って説明した。

【門脇委員】

- ・それがただの説明、ただの報告だと言っている。

【佐々木課長】

- ・先ほど門脇委員が言ったように一義的には地元の施設ではあるが、やはり区全体として、特に次の世代にどのようなメリットがあるのかなど、地域協議会で議論してもらい、それらを考えに加えながら、最終的な市としての方向を決めるとの方法論もあると思っている。

【門脇委員】

- ・浜益は、次の世代のことを考えず、現在に至っている。結局困っている。その地域のことや次の世代のことも考えていかなければ、今後に繋がらない。その説明もおかしい。各地区で話をしても納得がいかない。浜益区民が皆知らなければ、その地域では建設してほしいが、後々ほかの地区で不要だとなったらどうするのか。最終的に市が困るのではないのか。

【松田支所長】

- ・今まで自治会の各地域にある集会所だから、まずはその地域を抜きには話ができないので、当然話はする。ただ、それだけで決定してほしくない、色々な考え方があるわけだから、全体の意見を拾い上げられるようにとのことなので、そう意味での地域協議会であり、企画課も1か所ずつ2か所で説明して終わりとの話ではないので、その部分を拾えるような形で工夫して説明会を実施する。報告での言い訳づくりではない。次期的にもっと早く説明してほしいとの意見はあるが、現実的に昨年話したように災害、場所の距離の部分で色々なことを考え、保育園の案でとのことであつたが、本当に保育園の場所が使いやすいのかとの話になれば、それぞれの意見があるのが事実だったので、普段の使い勝手を考えたらどうなのか。災害があつた時に逃げる時には、保育園の場所に行けばそこが完全に安全だとは言えないので、別に考える。

【門脇委員】

- ・災害のことばかり考えたら何もできない。

【松田支所長】

- ・去年は、総合的に考えた場合の案だったが、それが日常に使えるのかとの考え方もあつたので、今の案で考える。海浜公園の案がそうである。実田は現実的ではないと思っているが、実田の案は、災害に関しては、まず大丈夫との場所を考えると浜益にはどこにあるのかとの観点だが、普段集まりづらい問題が当然ある。極端な案になってはいるが、ポイントごとの考え方が見える形で提示したほうが議論もしやすいので、この案を作った。

【門脇委員】

- ・3つの案より、市として1つの案を強く提示して、反対されても説明できるくらいでなければと思う。

【松田支所長】

- ・これから地域で説明して、10月にまた地域協議会も開催されるので、その中でも話をして、そして段取りを決め、早い段階で方向性を出して、建設に向けて見通しを立てたい。

【門脇委員】

- ・来年に決まったら、建設は3～4年後となるのか。

【松田支所長】

- ・設計をしてから、早くても2年くらい。ただ、昨年の保育園の場所だと保育園の移設場所も絡むので、もっと遅くなるイメージだった。

【中西次長】

- ・いずれにしても、急に突然決まったとの形ではなく、色々な方の意見を聞く形は整えながら進めたい。それと単なる集会所だけではなく、地域振興に繋がるような使い方ができる仕組みが必要であれば、それも一つ検討に入れたほうが良いのではとの話を自治会長にも伝えている。

【宮田会長】

- ・今日の段階での2自治会長への説明をしたことは、色々な意見があると思うが、現段階で皆さんにお知らせできるのは、この部分だけだと理解する。ただ、2つのコミセンを1つに集約する前提であるが、2つを1つにすることをまずは両地域の方々が納得しているのかが疑問である。

【中西次長】

- ・そのための自治会への説明会を開催するとの話である。

【宮田会長】

- ・これから、この点も含めて説明するのであれば、2つを1つにすることを前提とし、進めていただきたくない。

【中西次長】

- ・自治会からは、それぞれに建設してほしいとの要望を受けている。

【宮田会長】

- ・2自治会長も説明を受けたからと言って、良い悪いの判断を軽々にできないと思うので、それぞれの地域に持ち帰るとのスタンスだと思う。是非、きめ細かい説明をお願いします。
- ・実際に地域の方々から聞こえてくるのは、小規模でもそれぞれの地域に建設してほしいとの意見の方が結構いる。ただ、2か所に建設する場合と1つに集約し、ただの集会所のみではなく、地域の色々な振興のための機能を取り入れたいなど新しいものがあれば、その意見で賛成してくれるかもしれないし、予算の関係で2か所より1か所であればその金額の違いなど、よりきめ細かい説明をお願いします。

【中西次長】

- ・何をどう使うのかが、一番大事なところだと思っている。

【佐々木課長】

- ・地元が集会所だけでなく、何かプラスアルファ、地元全体の方が使う、区外の方が来て使ったりできるとなると見方も違うと思う。新築するならその部分も検討したり、地域振興の色々なアイデアをもらいながら進められたらと思っている。

(2) 地域の魅力発信！移住交流フェアへの参加について

- ・浜益支所地域振興課から情報提供した。

【佐々木課長】

- ・6月の第2回地域協議会で確認いただいた次年度以降の地域おこし協力隊員の拡充、増員に向け、地域協議会、農業者、漁業者の協力を得ながら、協力隊の招致活動に取り組みたい。
- ・11月17日に横浜で「地域の魅力発信！移住交流フェア」が開催され、申し込んだところ参加が認められ、支所職員が随行し、柿岡隊員、漁協青年部、農業者の若手などに声掛けして、参加したいと思っている。
- ・来場予定者は、3,000名くらいと聞いている。主催は、地域おこし協力隊を担当している総務省であり、大きな交流フェアで、地域おこし協力隊を募集したい自治体が全国から集まり、色々な方々とお話をするフェアとなっている。11時から17時までの6時間、地域でどのようなことを頑張りたいのか、どのような思いを持っているのかを確認しながら、交流をしたいと思っている。
- ・具体的な人選は、事務局で各団体の代表などと相談しながら、決定していきたいと思っている。

(3) JICAキャリアフェアの参加報告について

- ・浜益支所地域振興課及び地域おこし協力隊員から情報提供した。

【佐々木課長】

- ・8月27日に東京でJICA（青年海外協力隊）での2年間の派遣を終えて帰国した70人位の報告会に参加し、面談、交流をしてきた。
- ・柿岡協力隊員も一緒に参加した。

【柿岡地域おこし協力隊員】

- ・11の自治体、まちづくりに関する7団体が参加していた。はじめに、3会場に分かれ、15分ずつ、グループ、ブースごとにお話をさせていただき、50人程とご挨拶、名刺を渡すことができた。その後、大きな会場に移動して自由交流となったが、ここで再度、興味を持っていただいた方が来てくれて、11人の方と名刺交換できた。その中には、ウニの養殖に興味のある方、潜水士の免許を持っていて海に潜り生態系を調べたい方、ドローンを飛ばしたい方などがいた。
- ・海外協力隊員は、ボランティア活動で、発展途上国に行かれた方がメインで、過疎地よりももっと厳しい環境で生活をされていた方ばかりなので、なかなかたくましい方が多かったと思っている。
- ・直接、次期協力隊との感じではないが、これから徐々に交流を深め、何かのきっかけで次世代の協力隊につながればいいと感じた。

【佐々木課長】

- ・参加者のうち神奈川県に住んでいる方に11月17日に浜益の農業、漁業で頑張っている方も参加するので、また来場してほしいと伝えた。名刺交換した11人にはメール等で情報提供したいと思っている。
- ・ドローンの技術を活かし、浜益で活動したいとの提案があれば、まちづくりにどう活かせるのかということにつながるので、交流を深めていきたいと思う。

【寺山委員】

- ・ドローンの件だが、希望者がいれば是非お願いしたい。水稻の防除を行うが、免許を持っていないと一般的に買えない。皆さん高齢になって、防除するのが大変となっているので、私が所有しているし、新規購入でも構わないが、そのことが地域振興に繋がる。ドローンを活用できる地域おこし協力隊があればありがたい。浜益だけでなく、石狩、厚田でも需要がある。

【佐々木課長】

- ・そのような情報を伝えられたらと思う。そこが大切で11月のイベントでは、農業の従事者が出席するとその技術が重宝されることを伝えると一歩踏み出すことにもなると思う。

## 5 次回の開催日程について

【佐々木課長】

- ・令和元(2019)年度第5回の協議会は、10月に開催することとし、第8期委員に対し、後日改めて通知する。

## 6 閉 会

令和元年10月4日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 宮 田 勉